

## 平成 27 年第 13 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 平成 27 年 9 月 29 日（火）

午後 4 時 00 分～午後 4 時 35 分

2 ところ 教育委員室

3 出席委員

高橋委員長 森田委員 間島委員 齋藤委員 早瀬教育長

4 説明員

伊藤教育部長 阿部学務課長 畑島指導室長 高田生涯学習課長

佐藤生涯学習課主幹 谷村サテライト・キャンパス推進室長 飯野図書館長

林郷図書館主幹 高橋学務課主査

5 開会

齋藤委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

議案第 37 号	美唄市文化財保護委員委嘱の件
その他 1	平成 27 年第 3 回市議会定例会一般質問について

## 概要記録

16:00

●高橋委員長 ただいまから、平成27年第13回美唄市教育委員会議を開会します。

順序第1 会議録署名委員に、齋藤委員を指名いたします。次に、順序第2 会期の決定につきましては、本日1日とします。次に、順序第3 教育長報告並びに行事報告・行事予定について事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 はじめに、説明員の欠席についてご報告いたします。学務課主幹の西田、学校給食センター所長の日下の2名が、都合により欠席となっています。

それでは、資料に基づきまして説明いたします。

※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2）

●高橋委員長 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明がありましたが、何か質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 次に、議案第37号 美唄市文化財保護委員委嘱の件を議題といたします。

●高田生涯学習課長 議案第37号 美唄市文化財保護委員委嘱の件につきまして、提案理由をご説明いたします。現在、文化財保護委員6名のうち、松本委員を除く5名につきましては、平成25年10月1日付で選任いたしておりまして、松本委員につきましては、現在、課題となっております木造建築物の維持管理・保存につきましての専門知識をお持ちになっていることから、本年、7月29日に選任いたしまして、いずれも、9月30日をもって任期を満了することから、本年10月1日から平成30年9月30日までの3年間、全員を、引き続き、保護委員に委嘱しようとするものです。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

●高橋委員長 ただいまの件に関しまして、委員の方から何かご質問ございませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、議案第37号 美唄市文化財保護委員委嘱の件は、原案のとおり可決してよろしいですか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、原案のとおり可決いたします。

次に、その他１ 平成２７年第３回市議会定例会一般質問について事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 その他１ 平成２７年第３回市議会定例会一般質問についてご説明を申し上げます。まず、日程につきましては、先ほど教育長報告で申し上げましたとおり、９月２日から１８日の間で行われました。２の提出議案で教育委員会の関連分といたしまして、まず１つは、平成２７年度美唄市一般会計補正予算(第３号)でありまして、内容につきましては、市営温水プールのボイラー２基のうち１基が、故障したことによる改修費の補正であります。もう１点は、美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件で、南美唄小学校区放課後児童施設の位置を学校内に変更という内容で議決をいただきました。３点目の一般質問ですけれども、９月７日、及び８日の２日間に渡って、全部で８名の議員から質問がありまして、うち６名が、教育関連の質問でした。内容につきましては、次のページから説明させていただきます。

※一般質問、答弁内容説明（添付資料 別紙３）

●高橋委員長 ただいまの説明につきまして、委員の方から何かご質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、その他１ 平成２７年第３回市議会定例会一般質問については、終わります。それでは、本日の議事については全て終了いたしましたが、ほかに何かありますか。

●高田生涯学習課長 その他といたしまして、アルテピアッツア美唄の美術館化についてでございます。このことにつきましては、前回の委員会におきまして、来年４月からの博物館登録を目指して、条例改正のためのパブリックコメントの募集を９月定例会において、議員協議会に説明したいということで、将来的な動きを進めてきたところでございますが、企画調整会議にお諮りしたところ、まだ十分、市民理解を得られる状況ではないということで、見送られるということをご報告させていただきました。その後、９月１５日に、安田先生、ＮＰＯ法人の磯田理事長が市長を訪問いたしまして、再度、この件につきまして要請が行われましたが、最終的に市長から、博物館登録については、教育委員会議や社会教育委員会議に説明した上で、来年４月に向けて準備したいと回答をしたところでございます。そのため、社会教育委員に対しましては、去る９月２５日に開催いたしました会議で、ご説明をしましたところ、美術館にふさわしい施設の整備ですとか、アルテピアッツア以外の文化活動の振興策に関するご意見などをいただきましたけれども、博物館登録に

関しましては、特に異論はございませんでした。今後のスケジュールといたしましては、１２月定例会におきまして、議員協議会にご説明し、パブリックコメントの募集後、３月定例会に条例改正案を提出したいと考えておりますが、必要に応じて、教育委員会議にお諮りしたいと思います。博物館登録の必要性につきましては、前回の委員会の席でご説明をさせていただいたところですが、本日につきましては、教育委員の皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

●高橋委員長　ただいま、生涯学習課長から説明ありましたが、アルテピアッツァ美唄の美術館化のことで、委員の方から、何か意見があればお受けしたいです。

●伊藤教育部長　市民の皆さんの意見を求める手続きをすることになると思いますけれども、進めるにあたっては、美術館化というのが、どんなイメージかというのが入ってこないところがございますので、市民の皆さんにご説明するための資料は、更に揃えて行かなければいけないかと思っています。美術館化によって、どんな施設に変わっていくのか、あるいは、変わらないのか、使用の範囲についてはどのくらいなのか、新たな規制などが加わるのかとか疑問として浮かび上がってくるのかと思いますので、基本的には、これまで同様の施設の利用ということで考えてはおりますけれども、これに係る資料をきちんと説明できるように整えた上で、市民の皆さんの意見も入れられたらなと思っておりますので、それらの資料ができましたら、教育委員会議でご報告させていただいて、その上で、ご了解いただければその方向で進めさせていただきたいと考えています。その時点で、また、ご意見などいただきたいと思います。

●高橋委員長　ただいま、教育部長の方から説明がありましたが、具体的な資料が整って、皆様方にご提案していただいて、意見をいただくということでよろしいでしょうか。

●間島委員　美唄のほかに、道内で、こういう動きってあるのですか。

●高田生涯学習課長　今のところ、ほかでのこういう動きの情報は聞いてはおりません。

●高橋委員長　ほかに、何かご意見ありませんか。では、新たな資料が整ってから、皆さんの意見を伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事につきましては終了いたします。

最後に、間島恭一委員が、１０月３日をもちまして任期終了ということでございますので、教育委員会議としては本日が最後になりますので、ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

●間島委員 10月3日をもちまして、4年間の教育委員としての任期を終わらせていただきます。本当に高橋委員長をはじめ、森田委員、齋藤委員、教育長、事務局の皆様には、いろいろご助力、ご助言、ご指導をいただき、無事に4年間、務めることが出来まして、この場を借りましてお礼を申し上げます。いろいろ考えたのですが、年齢的なことから来る知力と体力の衰え、それから本業との兼ね合いとも考えまして、今回、若い方に、後をお譲りしたいなというような考えに至りまして、今回、退任をすることといたしました。今後は、一市民として美唄市の教育を見守っていきたいと思いますので、これからも、そういう視点で、ご意見を申し上げることもあるかと思いますが、この4年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

●高橋委員長 それでは、これをもちまして、平成27年第13回美唄市教育委員会会議を閉会いたします。ご苦労様でした。

16:35 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 齋藤 実

【別紙 1】

教 育 長 報 告

自 平成 27 年 8 月 24 日

至 平成 27 年 9 月 28 日

区 分	会 議 等
8月24日	第 11 回教育委員会議 教育委員室
25日	北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会(～26 日) グランドホテルニュー王子(苫小牧市)
27日	「栄誉を讃えて」表彰式 市長会議室
27日	「美唄教育の日」制定準備会 総合福祉センター
9月 2日	平成 27 年第 3 回市議会定例会(～18 日) 議場ほか
4日	戴帽式 美唄聖華高等学校
6日	第 13 回ピパオイカップ車いすバスケットボール選手権大会 総合体育館
11日	叙勲伝達 岩見沢市内
16日	第 12 回教育委員会議
18日	発達障がい支援モデル事業合同研修 市民会館
23日	第 24 回ピパオイヘルシーロードレース兼 第 20 回美唄市ハーフマラソン大会 総合体育館
28日	平成 27 年度公立学校職員永年勤務者表彰 市長会議室

上記のとおり報告する。

平成 27 年 9 月 29 日

美唄市教育委員会

教育長 早 瀬 公 平

【別紙2】

## 8 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
24	月				
25	火	第5回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	関係者
26	水	市民カレッジ①	14:00	ピパオイの里プラザ	市民
27	木				
28	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	市民
29	土	第28回市民歩こう会&すこやかウォーキング	10:00	総合体育館～アルテピアッツァ美瑛	市民
30	日				
31	月	キッズ・アスリートスクール⑩	17:00	中央小学校	市民

## 9 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	火				
2	水	手織&着物リメイク展（～13日）	9:00	郷土史料館	市民
		市民カレッジ②	14:00	ピパオイの里プラザ	市民
3	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	市民
4	金	キッズ・ダンス教室①	16:00	市民会館	市民
5	土				
6	日				
7	月	キッズ・アスリートスクール⑪	17:00	中央小学校	市民
8	火				
9	水	市民カレッジ③	14:00	ピパオイの里プラザ	市民
10	木				
11	金	キッズ・ダンス教室②	16:00	市民会館	市民
12	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	市民
13	日				
14	月				
15	火				
16	水	いん石落下90年特別企画展「光珠内いん石と南極いん石」（～10/15）	9:00	郷土史料館	市民
17	木	第6回定例校長会議	9:30	市長会議室	関係者
		なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	市民
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	市民
18	金	キッズ・ダンス教室③	16:00	市民会館	市民
19	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	市民
20	日	なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	市民
21	月				
22	火				
23	水	第24回ピパオイヘルシーロードレース	9:15	総合体育館	関係者
		特別展体験講座「いん石にさわろう！」	13:00	郷土史料館	市民
		特別展講演会「南極いん石と日本の南極観測」	14:00	郷土史料館	市民
24	木	第6回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	関係者
25	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	市民
		社会教育委員会議	18:30	教育委員室	関係者
26	土	美唄サテライト・キャンパス「楽しい油彩画」	9:30	札幌大谷大学	市民
27	日				
28	月				

# 10 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	図書館
2	金	キッズ・ダンス教室④	16:00	市民会館	生涯学習課
3	土	美唄サテライト・キャンパス「アイヌ文化と北海道」	13:00	大会議室	生涯学習課
4	日	郷土史料館特別展講演会「ここまで分かった光珠内いん石の研究史」	14:00	郷土史料館	生涯学習課
5	月				
6	火	第2回青少年指導員専任指導員会議	15:00	市長会議室	生涯学習課
7	水	市民カレッジ⑤	14:00	ピパオイの里プラザ	生涯学習課
		キッズ・アスリートスクール⑬	17:00	総合体育館	生涯学習課
8	木				
9	金				
10	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	図書館
		第54回美唄市体育祭（～12日）		総合体育館/サン・スポーツランド美唄/温水プール	生涯学習課
		第63回美唄市文化祭謡曲大会	13:30	市民会館	生涯学習課
		第63回美唄市文化祭文芸大会	10:00	市民会館	生涯学習課
11	日				
12	月				
13	火				
14	水	市民カレッジ⑥	14:00	ピパオイの里プラザ	生涯学習課
15	木	第7回定例校長会議	9:30	教育委員室	指導室
		なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	生涯学習課
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
16	金	キッズ・ダンス教室⑤	16:00	市民会館	生涯学習課
17	土	各小学校学芸会・学習発表会		各小学校	
		第63回美唄市文化祭総合展示（～18日）	9:00	総合体育館	生涯学習課
		パッチワーク展（～31日）	9:00	郷土史料館	生涯学習課
		おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	図書館
		美唄サテライト・キャンパス「アイヌ文化と北海道」	13:00 14:40	大会議室	生涯学習課
18	日	第63回美唄市文化祭市民茶会	10:00	総合体育館	生涯学習課
		なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	生涯学習課
19	月				
20	火	第7回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	指導室
21	水	市民カレッジ⑦	14:00	ピパオイの里プラザ	生涯学習課
22	木	キッズ・アスリートスクール⑭	17:00	総合体育館	生涯学習課
23	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	図書館
		小・中学校音楽祭	9:30	市民会館	
		キッズ・ダンス教室⑥	16:00	市民会館	生涯学習課
24	土				
25	日				
26	月				
27	火				
28	水	第61回美唄市女性大会	13:00	総合福祉センター	生涯学習課
29	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	図書館
30	金	キッズ・ダンス教室⑦	16:00	市民会館	生涯学習課
31	土	美唄サテライト・キャンパス「アイヌ文化と北海道」	13:00	大会議室	生涯学習課

## 【生涯学習課】

街頭指導 1日(木) 8日(木) 15日(木) 22日(木)  
 街頭指導(中高一斉) 30日(金)  
 列車添乗 21日(水)

## 【生涯学習課サテライト・キャンパス推進室】

・講座～産業系人材養成講座 1講座3回  
 市民教養講座1講座3回



吉岡 建二郎議員  
教育委員会学務課

件 名            2      教育行政について

中項目          (1)    学校図書館について

### 質問内容

- ①学校図書費については、基準財政需要額算入額に比較して、図書購入費の予算が全道の市と比較しても下位に位置しているが、このような現状をどのように認識しているのか伺う。
- ②学校司書の配置について、検討されているのか伺う。
- ③平成 26 年度の小中学校別の児童生徒 1 人当たりの貸出冊数及び図書購入冊数について伺う。

### 答弁内容

(学校図書費について ) であります、

- ①学校図書館については、「読書センター」機能や「学習センター」「情報センター」機能を担っており、学校教育に欠くことのできない重要な設備でありますので、図書の充実については、引き続き、取り組むべき課題であると考えております。
- ②次に、学校司書についてであります、昨年 6 月、学校図書館法の改正により、学校司書の配置が努力義務として規定され、本年 4 月から施行されております。学校司書の役割としては、司書教諭と協力・連携しながら、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児

童生徒及び教員による利用を一層の促進することとされております。

本市におきましては、具体的な検討は行っておりませんが、学校図書配置に関する当面の課題としては、資格や養成、財政面の措置でありますので、北海道都市教育委員会連絡協議会を通じて重点要望として国に要望を継続してきております。

本市としては、これらの推移を注視していくとともに、情報の収集に努めて参ります。

③次に、平成 26 年度の小中学校別の児童生徒 1 人当たりの貸出冊数及び図書購入冊数についてであります。小学校児童 1 人当たりの貸出冊数は、18.1 冊で、図書購入冊数は、0.7 冊、中学校生徒 1 人当たりの貸出冊数は、1.8 冊で、図書購入冊数は、0.7 冊となっております。

平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

吉岡 建二郎議員  
教育委員会学務課

件 名            2     教育行政について

中項目          (2)    教科書採択について

質問内容

平成 28 年度使用教科書の採択について、次の 2 点を伺う。

- ①平成 28 年度から使用される中学校教科書の採択については、今年度、教科用図書採択教育委員会協議会において決定されたと聞いている。その採択状況については公開されているか。
- ②採択に際して行われる教科書展示会において、美唄市からはどのような意見や要望が寄せられているのか、「社会科」の状況について知りたい。

答弁内容

（教科書採択について ）であります、

①平成 28 年度から使用される中学校の教科書につきましては、道内 21 の採択地区において決定され、その結果は、現在、北海道教育委員会のホームページに掲載されております。なお、教科書の採択につきましては、美唄市は、岩見沢市を除く空知管内 23 市町で構成する「第 5 採択地区」に属しております。

②次に、教科書展示会における「意見・要望書」についてありますが、社会科に関するものは 8 件ありました。その内容については、歴史分野や公民分野において、「歴史を正しく伝えてほしい」

などの理由により、採択してほしくない教科書がある旨の意見が6件、「随所に憲法の精神に基づいた記述がみられる」などの理由により、採択してほしい教科書があるとの意見が1件、その他、「公平な内容の教科書を使用してほしい」との意見が1件ありました。

平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

森川 明議員  
教育委員会学務課

件 名           5     教育について

中項目       (1)   教員の広域異動制度について

質問内容

5 年目に入った教員の広域異動制度、都市部のベテランと他管内市町村の若手教員との交流等が実施されているようである。指導力向上と学力の地域差解消とも思われるが、その実態について、人事権は道教育委員会にあるものの、内容等を伺いたい。

- ①広域異動のメリットについて
- ②異動期間は定められているのか。
- ③異動先は全道一円か。
- ④昇格人事に優遇される懸念があるのでは。
- ⑤空知及び美唄市における該当者数

答弁内容

（北海道公立小中学校教職員広域人事について）であります、  
①この制度は、北海道教育委員会が「北海道公立小中学校教職員広域人事実施要項」で定めており、その目的としては、教職員の全道的な適正配置を推進することにより、地域における学力向上や生徒指導等、教育課題の改善に取り組み、全道的な教育水準の維持向上を図ることとされております。

具体的な効果としては制度経験者の感想から、若手とベテランが相

互に交流することにより若手教員が授業力を身に付けることができ、教員として多様な経験を積むことにより、資質能力の向上につながっているなどの成果が報告されております。

②次に、異動先での勤務期間については、原則３年となっております。

③次に、異動先については、全道 14 管内を隣接する 5 地域に区分し、年齢の高い管内と年齢の低い管内との間での異動が基本となっており、空知管内については、日高管内が異動先となっております。

④次に、広域人事実施後の取扱いについては、要項上、異動元の管内で勤務すること、広域人事終了者については人事施策上考慮することとされております。

⑤次に、平成 27 年度当初人事において、広域人事により転出した教員は空知管内、美唄市ともにおりませんでした。転入教員については、空知管内で 1 名となっております。

平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

森川 明議員  
教育委員会学務課

件 名            5     教育について

中項目          (2)    病気理由の休職教員について

質問内容

教育職員の精神疾患による病気休職者数が文科省の平成 25 年度公立学校教職員の人事行政状況調査で明らかになっており、メンタルヘルス対策の難しさが浮き彫りとなっている。理由として、教員の多忙と、地域、保護者、学校をとりまく環境が予測される。伺いたい点は、

- ①要因は何か。
- ②防止対策
- ③文科省調査は何年毎に行われるのか。
- ④北海道、空知、美瑛市の実態

答弁内容

（教職員の休職の状況について）であります。

- ①はじめに、ストレスの要因といたしましては、文部科学省が平成 25 年 3 月の報告した「教職員のメンタルヘルス対策について」としてまとめた調査結果によりますと、いずれの世代においても、「生徒指導」「事務的な仕事」「学習指導」「業務の質」「保護者への対応」に強いストレスを感じる頻度が比較的高く、また、世代別では、60 歳代を除いて全体的に年代が高くなるほど強いストレスを感

じる傾向にあるが、部活動指導については、30 歳代の教員が強いストレスを感じる頻度が最も高いという結果が出ております。

②次に、教職員のメンタルヘルス対策についてであります。予防のためにはまず本人の「セルフケア」が重要であり、常に安定した気持ちで仕事ができるように、メンタルヘルスの自己管理に努めることが最大の予防対策とされております。このようなことも踏まえ、北海道教育委員会では、学校や職場におけるストレスの実態について、ストレスチェックや休職者等からのヒアリング等により把握するとともに、教職員への研修やパンフレット等の配布による普及啓発、「管理監督者のためのメンタルヘルスハンドブック」の作成、また、公立学校共済組合と共同で実施している「心の健康相談」や「メンタルヘルスセミナー」等を充実するなど、メンタルヘルス対策に取り組んできているところです。

本市におきましても、道教委が作成したパンフレットやハンドブックの配布、各種セミナーへの参加を呼びかけているところであります。

③次に、公立学校職員の人事行政調査の実施年度についてであります。文部科学省において毎年度実施しております。

④次に、北海道における精神疾患による病気休職者についてですが、平成 25 年度の同調査によりますと 216 人となっています。空知の実態については、公表されていません。本市においては、現在のところ精神疾患による休職者はおりませんが、今後とも、教職員の精神疾患の未然防止、早期発見、早期対応に向けたこれらの取り組みを北海道教育委員会と連携を図り、推進してまいります。



平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

金子 義彦 議員  
教育委員会学務課

件 名            5     財政状況について

中項目        (1)    公金等の未収納状況について

質問内容

財政健全化を目指す本市にとって、歳入における影響は大きなものと認識しており、公平性の観点からも大きく逸脱するものと判断する。そこで、それぞれの所管する直近過去 3 か年（H24～H26）の未納件数、未納額、収納率、不能欠損額について伺います。

- ①幼稚園保育料
- ②学校給食費会計

答弁内容

（直近過去 3 年の幼稚園保育料及び学校給食費の未収納状況について）であります。

- ①幼稚園保育料の滞納件数、未納額、収納率、不能欠損額の順に現年度分及び滞納繰越分を合わせた数字で申し上げますと、  
平成 24 年度、14 件、335,000 円、83.8%、87,000 円、  
平成 25 年度、9 件、161,000 円、91.6%、45,000 円、  
平成 26 年度、7 件、168,000 円、98.4%、22,000 円、  
となっております。

②次に、学校給食費につきましては、市の会計とは、別の会計をもって運営しており、

同様の順で申し上げますと、

平成 24 年度、55 件、3,127,000 円、97.0%、不能欠損額はありません。

平成 25 年度、50 件、2,748,000 円、96.9%、288,000 円

平成 26 年度、50 件、2,862,000 円、96.9%、不能欠損額はありません。

以上となっております。

平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

再質問

金子 義彦 議員  
教育委員会学務課

件 名            5     財政状況について

中項目        (1)   公金等の未収納状況について

質問内容

公金等の収納状況を踏まえ、教育長はどのような判断をし、どのような考えを持っているか伺う。

答弁内容

（幼稚園保育料及び給食費の収納に対する考え方について）であります、

教育に関する徴収金については、制度の健全な運営を図る上で、公平な負担を期することが基本でありますので、適正な納付を促すとともに、生活状況等の事情により、納付が困難な状況にある方については、分納などの相談も行っているところであります。

具体的な対応方法といたしましては、幼稚園保育料については、在園者の保護者に対し、幼稚園を通じて督促を行っており、卒園者の保護者については、督促や面談等を行って、納付を促しているところです。

また、学校給食費については、学校給食運営協議会が運営主体となっており、学校と緊密な連携の下、督促や面談等を通じて納付を促しているほか、臨時徴収員を雇用し、過年度分の未納額の徴収に努めております。

いずれにいたしましても、引き続き、収納率の向上、年度内の完納に向け、保護者の理解の下、適正な納付をしていただくよう努めてまいります。

川上 美樹 議員  
教育委員会生涯学習課

- 件 名            3     文化財・炭鉱遺産について
- 中項目           (2)    指定文化財及び炭鉱遺産について
- ①   炭鉱遺産に関する市の考え方について
- ②   炭鉱遺産に関する維持・管理について

#### 質問内容

1   美唄市では、美唄屯田兵屋をはじめ 7 つの指定文化財と石狩炭田の一角である美唄炭鉱、三菱炭鉱、三井炭鉱の大規模な炭鉱のほか、中小炭鉱もかつて多数広がり、後世に残したい貴重な炭鉱遺産に指定されている建造物が残っている。

この建造物等々の種別ごとの内容について伺う。

2   炭鉱全盛期における美唄鉄道の駅舎数はどの程度有していたか伺う。

#### 答弁内容

（文化財について）であります、  
現在、本市には、北海道指定文化財の「美唄屯田兵屋」のほか、市が指定する「美唄屯田騎兵隊火薬庫」、「旧桜井家住宅」及び「4110 形式十輪連結タンク機関車 2 号」の有形文化財、天然記念物の「光珠内いん石」、無形民俗文化財の「峰延獅子舞」及び「峰延東傘踊り」の以上 7 件がございます。

また、炭鉱遺産といたしましては、平成 19 年度に経済産業大臣から近代化産業遺産に認定された「三菱美唄炭鉱竪坑櫓（たてこうやぐら）」、「三菱美唄炭鉱原炭ポケット」、「三井美唄炭鉱事務

所」の3件、平成13年度に北海道が選定した北海道遺産の「空知の炭鉱関連施設と生活文化」に本市が含まれているほか、市の指定文化財では「4110 形式十輪連結タンク機関車2号」が炭鉱関連の施設となっています。

次に、美唄鉄道についてであります。大正3年に開業した美唄軽便鉄道を翌年、三菱合資会社を買収し美唄鉄道株式会社が発足し、大正年間には10.56キロメートルの路線に美唄、盤の沢、我路、美唄炭山、常盤台の5駅が開設されました。

昭和23年10月には東明駅が開業し6駅となりましたが、昭和47年に廃線となっています。

再質問

川上 美樹 議員

教育委員会生涯学習課

- |     |     |  |
|-----|-----|--|
| 件 名 | 3   | 文化財・炭鉱遺産について                               |
|     |     | 指定文化財及び炭鉱遺産について                            |
| 中項目 | (2) | ① 炭鉱遺産に関する市の考え方について<br>② 炭鉱遺産に関する維持・管理について |

質問内容

本市は明治、大正、昭和にわたり、主要基幹産業として三井、三菱といった大規模炭鉱をかかえ道内有数の炭鉱町として栄え、この間、鉄道は石炭の輸出や地域住民の足として重要な交通網だった。

これらの歴史の中で閉山を迎え、ひとつひとつの駅舎がなくなり、現存しているのは東明駅舎のみとなっている。

東明駅舎の保存はどうなっているか、また今後どのような形で保存を行っていくのか、さらに本市における文化財、炭鉱遺産の建造物等について、東明駅舎はこれらの対象にならないのか、文化財や炭鉱遺産等の登録には基準規定があると思うがこれらを含め伺う。

答弁内容

（旧東明駅舎について）であります、  
美唄鉄道の廃止後、東明駅以外の5つの駅舎は解体されましたが、東明駅舎は、美唄鉄道関係資料や「4110 形式十輪連結タンク機関車 2号」とともに三菱鉱業株式会社から市に寄贈され外観保存してまいりました。

現在、旧東明駅舎は、機関車と共に教育委員会が管理していますが、建物の傷みが著しい箇所について改修を行っているほか、地域

の有志の方々に組織された「東明駅保存会」の会員の皆様のボランティアにより、草刈りなど周辺環境美化や駅舎の日常的な点検、また施設を活用したイベント開催など、ご協力をいただいているところであります。」

文化財の指定につきましては、文化財保護法、北海道文化財保護条例、美唄市文化財保護条例等に定められており、有形文化財の定義は、「建造物などの有形の文化的所産で、歴史上又は芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料」とされ、登録基準は、「原則として建設後五十年を経過し、かつ、1 国土の歴史的景観に寄与しているもの、2 造形の規範となっているもの、3 再現することが容易でないもののいずれかに該当するもの」とされています。

文化財の指定にあたりましては、これらの基準に該当するとともに市にとって特に文化的価値が高いと認めるものを所有者等の同意の上、美唄市文化財保護委員会に諮問し、答申を得て指定するものであります。

このようなことから、旧東明駅舎につきましては、本市における炭鉱の歴史を後世に伝える貴重な資料であり炭鉱遺産であると認識しておりますものの、文化財指定に至るには要件が十分ではないと考えており、これまでどおり、修繕補修を施しながら施設の維持管理と活用に努めてまいりたいと考えています。

なお、「炭鉱遺産」につきましては、登録認定制度や法令上の基準等はなく、一般的な呼称であると承知しております。



再々質問

川上 美樹 議員  
教育委員会生涯学習課

- |     |     |  |
|-----|-----|--|
| 件 名 | 3   | 文化財・炭鉱遺産について                               |
|     |     | 指定文化財及び炭鉱遺産について                            |
| 中項目 | (2) | ① 炭鉱遺産に関する市の考え方について<br>② 炭鉱遺産に関する維持・管理について |

質問内容

文化財としての指定について理解するものの、炭鉱遺産については制度や基準の定めがないとのことで、少なくとも東明駅は炭鉱全盛時の唯一の建造物である。

「4110 形式十輪連結タンク機関車 2 号」の文化財、炭鉱遺産との関係性から見ても炭鉱遺産として認定されるべきでないか伺う。

答弁内容

(炭鉱遺産について) であります、

「産業遺産」は、ある時代においてその地域に根付いていた産業の姿を伝える遺物や遺跡を指すものと認識していますが、その中でも石炭産業に関わる遺物や遺跡については、一般的に「炭鉱遺産」と表現されています。

この「炭鉱遺産」という呼び方につきましては、法令等の規定等はないものの、旧東明駅舎は、本市の炭鉱産業全盛期に使用された施設でありますので、本市においては「炭鉱遺産」のひとつとして位置付けているところであります。

今後、道道美唄富良野線の開通を見込み、その活用につきまして検討してまいりたいと考えております。

平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

吉岡 文子 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     市内の 2 高校について

中項目          (1)   現状について

質問内容

①高校ごとの生徒数について

- ・ 平成 27 年度の生徒数
- ・ 在籍生徒数の市内・市外の内訳

答弁内容

（市内 2 高校の生徒数について ） ありますが、  
平成 27 年度の生徒数について、8 月 1 日現在で申し上げますと、北海道美唄尚栄高等学校については、1 学年 92 名、2 学年 75 名、3 学年 104 名の合計で 271 名が在籍しており、北海道美唄聖華高等学校については、1 学年 79 名、2 学年 52 名、3 学年 79 名、専攻科 1 学年 75 名、2 学年 78 名の合計 363 名が在籍しております。  
次に、在籍生徒数の美唄市内・市外の内訳についてありますが、北海道美唄尚栄高等学校は、在籍生徒数 271 名に対し、市内生徒は 157 名で 58%、市外生徒は 114 名で 42%となっており、北海道美唄聖華高等学校は、在籍生徒数 363 名に対し、市内生徒は 15 名で 4.1%、市外生徒は 348 名で 95.9%となっております。

平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

吉岡 文子 議員  
教育委員会学務課

- |     |     |                       |
|-----|-----|-----------------------|
| 件 名 | 3   | 市内の 2 高校について          |
| 中項目 | (2) | 高校が存在することの自治体への影響について |

質問内容

市内に高校があることによる地域への貢献や効果について

答弁内容

（市内高等学校の貢献等について）であります、市内 2 校の高等学校では、それぞれ、特色ある教育活動が行われており、地元からの進学、通学が容易にできることにとどまらず、高校生の文化、スポーツ面での活躍は、小中学生の目標にもなっています。

高等学校は、生徒が自らの在り方、生き方を深く考え、将来の進路を選択し決定する能力や態度を身に付けるとともに、それぞれの興味・関心、能力・適性、進路等に応じて選択した分野の学習を深める場であり、望ましい勤労観、職業観の育成や社会奉仕の精神の涵養等により、未来を拓く主体性のある社会の一員として、その後の学習や職業生活、社会生活の基盤を形成する場でもあります。

そのため、教育活動の中では、広く地域をフィールドとして活用し、小中学校との連携は勿論、公的機関や企業、住民とのつながりが重要となっています。

また、食育をはじめ、福祉分野や環境保全、スポーツ振興、産業振

興など、様々な分野・場面での生徒のボランティア活動やキャリア教育としての職場体験、あるいは実習等により、地域としても、教育的・文化的な刺激を受けています。

以上のようなことから、市内に高等学校があることにより、幅広い分野にわたる地域貢献やまちの活力づくり、活性化といった大きな役割を担っていただいており、加えて、教材等の調達や生徒、教職員による市内消費など、市内経済への貢献も見逃すことができないものと考えています。

平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

再質問

吉岡 文子 議員  
教育委員会学務課

- 件 名            3     市内の 2 高校について
- 中項目          (2)    高校が存在することの自治体への影響について

質問内容

美唄尚栄高等学校は入学者の減により、間口削減などの危機的な状況にさせないための支援策が必要と考える。

生徒獲得のための保護者支援策が必要と考えるが、教育長の考え方を伺う。

答弁内容

（市内高校への支援について ） ありますが、  
中学校卒業生数が減少していく中、定員を確保していくためには、それぞれの高校における教育活動を理解してもらい、学校の魅力を知ってもらうことが必要でありますので、教育委員会といたしましては、市内高校と中学校の進路指導に関する懇談会の実施や 1 日体験入学などを通して、学校への興味・関心を深めてもらうことにより、支援につなげてまいりたいと考えております。

このほか、北海道美唄尚栄高等学校については、美唄サテライト・キャンパス事業の中での協力 3 大学からの出前講座の実施により、生徒の大学進学への意欲の醸成にも努めており、今年度の新たな取り組みとして、同校の施設・設備を利用した市内中学校との授業交流を行うこととしております。また、北海道美唄聖華高等学校につい

ては、市立美唄病院での看護実習の受入れをしています。

今後の市内高校への支援策につきましては、まずは高校の意向をお伺いしたいと考えております。

平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

山崎 一広 議員  
教育委員会生涯学習課

- |     |     |  |
|-----|-----|--|
| 件 名 | 1   | 企画行政について   |
|     |     | 公共施設の管理について  |
| 中項目 | (3) | ① 公共施設等管理計画の策定状況について<br>② 上記計画に含まれない施設の今後の改修の<br>考え方について |

質問内容

（各地方公共団体がそれぞれ保有する公共施設やインフラ資産の状況を把握し、対応を検討していくに当たって、国では、全国の自治体に対して、今後のまちづくりの中で、公共サービスを充実して行く上で、「公共施設等総合管理計画」を策定するよう、要請があったとお聞きしております。

そこで、市内各スポーツ施設 と 市民会館等の文化施設、統廃合後の学校施設等 における調査の対象 や 調査の方法、今後の策定スケジュールについて、市長に伺います。）

また、この計画に含まれていないスポーツ施設について、今後の改修等の考え方について、教育長に伺います。

答弁内容

（公共施設の管理について ） ではありますが、公共施設等総合管理計画に含まれないスポーツ施設としては、市営野球場やサイクリングロードなどがあげられます。スポーツ施設全般につきましては、現在、策定中の第 6 期美唄市総合計画後期基本計画に基づき、人口減に伴う整理・統合も念頭に入

れつつ、計画的な改修を進めてまいりたいと考えており、サイクリングロードにつきましては必要性の検討を、また、市営野球場につきましては計画的な改修をしてまいりたいと考えております。



平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

再質問

山崎 一広 議員  
教育委員会生涯学習課

- |     |     |  |
|-----|-----|--|
| 件 名 | 1   | 企画行政について   |
|     |     | 公共施設の管理について  |
| 中項目 | (3) | ① 公共施設等管理計画の策定状況について<br>② 上記計画に含まれない施設の今後の改修の<br>考え方について |

質問内容

スポーツ施設、特に野球場はオープン以来 42 年経過、傷みが進み、  
だましだまし使っている現状、市民会館やサイクリングロードも同  
様、  
どのように整備するのか伺う。

答弁内容

(スポーツ施設について) であります、  
市営野球場につきましては、昭和 48 年に建設以来、42 年を経過し、  
全体的に老朽化が進んでおり、平成 23 年度に実施した調査で緊急性  
が高い改善箇所が指摘されたことを受け、平成 25 年度に「美唄市公  
園施設長寿命化計画」を策定し、この中でバックネットや本部席な  
ど必要な改修を予定しているところであり、国や道との協議を経て  
整備の手順や実施年度を具体的に検討していくこととしています。  
また、昭和 55 年に開通したサイクリングロードにつきましては 35  
年が経過し、シーズン前に土砂や折れ枝、落ち葉等の清掃を行って  
いるものの、樹木の根や雑草による路盤の傷みが進み亀裂や段差も  
生じ、利用者の安全確保の面で難しい状況となっており、路面の維

持のために全面的な改修をすることは困難と見込まれます。  
サイクリングに関しましては、近年、市内の道路整備が進んでいることや愛好者の皆さんの広域的な走行への志向がうかがえることなどに鑑み、市内道路網を活用したサイクリングコースの設定を検討していくこととしています。

平成 27 年 第 3 回 定例会 一般質問

山崎 一広 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     公共的施設の利活用について

中項目          (1)    旧美唄工業高校について

質問内容

体育館を体育センターとして利用され、グラウンドにおいては、  
「美唄尚栄高校野球部」が使用しておりますが、その道路を挟んで  
建てられております「教職員住宅」についてお聞きします。  
現在は、道のものと思いますが、今後、どうされるのかお聞きしま  
す。

答弁内容

（旧美唄工業高校の教職員住宅について ） であります、  
市道新川通を挟み、北側に 8 棟 22 戸、南側のグラウンド横に 2 棟  
4 戸、全体で 10 棟 26 戸あります。現在、北側の住宅については  
入居者はなく、南側のグラウンド横の住宅については 2 戸入居され  
ています。  
今後の取り扱いにつきましては、道内部での利活用について、検討  
しているとお聞きしております。